

令和2年6月1日

医療機関の長 殿

茨城県医師会会長 諸岡 信裕

「新型コロナウイルス関連感染症：第40報」

第14回都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会について

5月29日(金)に日本医師会TV会議で開催されました標記会議の要点をお知らせします。

1)院内感染防止対策の補助など政府支援策が発表されました。

政府は第2次補正予算案を決定しましたが、その中に医療機関、医療関係者に対するさまざまな支援策が盛り込まれています。その中で新型コロナウイルス患者を直接診療しない一般医療機関に係るものでは、感染拡大防止に関する費用補助、診療報酬の前払い、医療従事者への職員慰労金の支給、福祉医療機構の優遇措置の拡充などがあります。職員慰労金は新型コロナウイルスの診療を行わない一般医療機関にもひとり5万円支給される予定です。くわしくは厚労省のホームページを参照してください。「第二次補正予算等における医療支援」で検索できます。なお、5月分診療報酬の前払いについては、6月5日までに支払基金と国保連に申請書を提出する必要がありますのでご注意ください。

2)経営状況の悪化が深刻です。

日本医師会では、サンプル調査で3月、4月の医療機関の経営状態の調査を行いました。全体では3月、4月それぞれ入院外の診療報酬の請求点数が昨年の同月に比べて7.9%、14.5%減少していましたが、診療所の方の減少が著明で3月、4月それぞれ10.8%、16.1%の減少でした。科別で見ますと下の表の通りで小児科、耳鼻咽喉科で落ち込みが目立ちます。横倉会長は何らかの対策を政府に求めてゆくと話していました。

診療所(有床・無床)診療科別 総点数

回答数10施設以上の診療科

(点)

	回答数	3月			4月		
		平成31年	令和2年	増減(%)	平成31年	令和2年	増減(%)
内科	133	144,169,109	132,369,736	▲ 8.2	144,322,118	126,396,909	▲ 12.4
外科	14	9,155,039	8,337,232	▲ 8.9	9,454,272	7,765,407	▲ 17.9
整形外科	12	14,087,427	12,858,765	▲ 8.7	14,364,784	11,449,192	▲ 20.3
眼科	14	14,661,309	13,652,635	▲ 6.9	13,649,055	12,340,796	▲ 9.6
耳鼻咽喉科	18	25,301,893	19,082,066	▲ 24.6	18,899,852	12,140,041	▲ 35.8
小児科	23	16,477,487	13,214,202	▲ 19.8	16,276,671	10,251,722	▲ 37.0

3)唾液のPCR検査が今週中に保険収載される予定です。

検体採取の面で現行の鼻咽頭ぬぐい液によるPCR検査よりも安全であるとして期待されていた唾液のPCR検査がいよいよ保険で認められることになりました。今週中に厚労省から発表される予定で、同時に運用方法についてのガイドラインが発表されます。第2波に備えて積極的な広域での検査の必要性が認識されていますが、この検査をどのように使っていくかガイドラインの内容が注目されます。ただ、従来の方法と違って容器の外側がウイルスに汚染されている可能性が高くなり検体容器の取り扱いに注意が必要です。

※国が実施する新型コロナウイルス感染症の発生に伴う手指消毒用エタノールの優先供給スキーム(6月分)の周知依頼がありました。購入を希望する際はアスクル専用サイト(<https://www.askul.co.jp/ent>)で登録してください。5月分で登録いただいた方については登録不要です。発注を希望する方は6月4日(木)までをお願いします。